

## 第 1・2 回懇談会「議論のポイント」

### 1 議論のまとめ

#### 【第 1 回】

##### (1) 検討の進め方

- ・項目 1 は目的、項目 2～4 は手段と考える。(項目 1 に重点を置く。)
- ・項目 1 に重点を置き、議論すべきと考える。
- ・1 情報発信拠点としての新たな事業展開、発信のあり方に重点をおき検討を進める。
- ・特に、1 情報発信拠点として図書館が今後どのようなサービスを提供できるかを重点に置き検討を進める。

##### (2) 検討のまとめ方

- ・10 年間の取り組みの方向性を意識して検討する。
- ・10 年後の姿を見据えた構想、方向性についても意見を出す。
- ・全体としての図書館の今後のサービスの方向性を考える。
- ・すでに情報発信拠点である。(本があるハードの集まりではなく。)

#### 【第 2 回】

- (1) 身近な地域の問題から、非常に専門性の高い問題までどこへ行って、どういう形で情報を得たらよいかを知らせてくれるインフォメーション機能
- (2) アドバイザーがいるサービス機能
- (3) 敷居の低い図書館をめざし、サービスをいかに知らせていくか等の充実が必要

### 2 議論のポイント

#### 情報発信拠点

- (1) 図書館が発信する情報(内容、方法)

#### これまでのサービス(事業の充実)

- (2) これまで図書館が担ってきたサービスをどのような形で発展させていくのか。
- (3) 新たな事業展開(図書館らしい情報、図書館ならではの情報発信)
- (4) 方向性を確かめる・インフォメーション
- (5) インフォメーション機能を活用した新たな事業展開

#### これからのサービス(事業の拡大)

- (6) 新たな図書館のサービス

### 3 委員の主な意見

- (1) 図書館の機能、事業の周知

#### 図書館を知ってもらう努力

- ・光が丘図書館が 12 館のリーダーであることの周知も必要である。

- ・簡単に検索できるシステムか？
- ・検索機能が一番のポイント
- ・検索システムを区民は知らない。
- ・図書館の利用の仕方の周知

#### 図書館の本来機能の充実、知的好奇心を満足させる役割

- ・公共図書館としての役割を明確にし、伸ばしたほうがよい。
- ・図書館はもっと果たすべき機能がある。
- ・本来的なサービス、文献検索などの役割を果たすことが求められている。
- ・資料やメディアを使って調べることができるのは基本だ。
- ・図書館は知的好奇心をプラスアルファするところ。
- ・方向性を確かめるために、どう調べていけば分かるか、道筋を教えてもらえらる。
- ・図書館がやるべきことは「ここへくれば調べ方もわかります」と教えること。
- ・レファレンスサービス、リテラシー教育といったものが図書館の役割だ。

#### 新たな機能

- ・「図書館」という名称についても検討対象となるのではないか。
- ・図書館に意見を言える場が必要だ。  
[関連]区に意見を言える場はある。
- ・12館の図書館を区の情報発信拠点とすることは地域的に良い。

## (2) 運営内容、図書館サービス

#### 年代、立場、目的に合った情報提供

- ・マイノリティへの責任を果たすことが一つの課題である。
- ・各利用者が求めるサービスのあり方について意見を出す。
- ・大事な部分はそれぞれの人によって違う、分ける必要がある。
- ・立場に合わせたものを発信する。
- ・区民のニーズに合わせる。
- ・立場にあった解決方法、具体的な方法を情報提供する。

#### 必要な人に必要な情報提供

- ・検索システムを使い、必要な人が必要な情報を無駄なく手に入れることができる。
- ・365日24時間利用できるように検討すべきと考える。
- ・電話一本で知りたいことに答えてくれるサービスの提供に公立図書館として責任を持つ。
- ・知らせたい人に知らせたい部分だけダイジェスト版を作成し、提供する。  
[関連]情報を作ったところがやるべきだ。

#### 専門的人材の配置

- ・情報を総合的に把握して、受け手にきちんと対応できる人材の配置
- ・受け手にわかりやすく情報提供できる専門性のある人の配置

### (3) 新たな図書館のサービス

#### 広報活動

- ・図書館から(さまざまな)情報を提供、発信するということは新しい切り口だ。
- ・敷居が高いイメージがある。
- ・サービスをいかに知らせていくか、広報を充実する。
- ・図書館の機能を知らない人に伝えることが使命
- ・どんなことができるか区民に知ってもらうことが第一

#### 地域情報とは？

- ・地域情報とはどのようなものか。
- ・情報とは何か。

#### 図書館らしさ

- ・図書館らしさを出すためにはどうするか。
- ・図書館らしい情報発信

#### 魅力ある事業

- ・行くと何かある、利点をPRする。
- ・足を運ぶような魅力的な図書館としての工夫

#### 具体的提案

- ・情報メールマガジンなど図書館からの発信によって意識を持ってもらう。
- ・パソコンを使えない人にどう情報を発信するのか。
- ・電話案内なども効率的に行っている図書館もある。(葛飾区立図書館を参考に)
- ・パソコンの使い方、入門講座
- ・図書館相談員、インフォメーションが大事だ。
- ・インフォメーションのような機能を持つこと、それを周知する。
- ・福祉という視点から、高齢者の居場所、話し合える場があっても良い。

#### [関連]施設整備や工夫が必要

- ・区の知らせたい情報を知らせるシステムにつなげる。(区民事務所等との連携など)
- ・専門性を保てる民間委託の方向性は認めるべき。